



大内中だより

さつきの丘

Webページはこちら→

令和6年4月9日
第2号



好天に恵まれた入学式、43名の新入生を迎えました。

新入生 誓いのことば

すがすがしい春の風を頬で感じる今日、私たちは大内中学校の門をくぐりました。真新しい制服に身を包み、これから始まる中学校生活に、期待と喜びで胸が一発いっぱいです。

本日は盛大な入学式のもと、私たち新入生を迎えていただき、本当にありがとうございます。上級生の皆さん、先生方、保護者の皆さん、地域の方々に支えられて、今日この日を迎えられたことにとても感謝しています。

そして、校長先生をはじめ、ご来賓の方々、先輩方の励ましの言葉をいただき、中学生という自覚をもち、新たな決意を固めることができました。

私たちは小学校六年間で、たくさんの人に出会い、大切な仲間たちと様々な経験をしてきました。その中で、相手の気持ちを思いやること、自分で判断し、行動することの大切さや難しさを学びました。小学校で学んだことを生かして、勉強に、部活動に、生徒会活動に、精一杯取り組んでいきたいと思えます。困難にぶつかることもあるでしょう。しかし、あきらめずに努力し、乗り越えていきたいです。

また、大内中学校は、あいさつ日本一を目指している学校だと説明会でも伺いました。あいさつは、周りの人と関わる上で、とても大切なことだと小学校でも学んできました。これからは大内中学校の生徒としての誇りを持ち、先輩たちが築き上げてきた伝統を受け継いで、さらに明るくさわやかなあいさつができる生徒になりたいと思えます。そして、「自立」「協調」「躍進」の校訓のもと、自ら考えて行動し、仲間と協力しながら、どんなことにも挑戦し続けることを約束し、誓いの言葉といたします。

令和六年四月八日

新入生代表



歓迎の言葉

穏やかな日差しに、春の訪れを感じる今日新たな一步を踏み出す新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新しい制服に身を包み、晴れて大中学生となったみなさんは今、どのような気持ちですか。新しい生活への期待や緊張、不安など、様々な気持ちを抱えていることと思えます。私自身も、入学当初は、学年やクラスのみならず仲良くできるのだろうか、学習についていくことができるのだろうかといった不安でいっぱいでした。しかし、学年のみならず先輩方と接していくうちに中学校生活は、楽しく充実した日々へと変わりました。私たち上級生は、皆さんが一日でも早く中学校での生活に慣れることができるよう手助けしたいと思えます。分からないことがあったら、いつでも私たちに声をかけてください。

ステージの上を見てください。大内中学校には三つの校訓があります。自ら考え行動する「自立」、仲間と共に助け合う「協調」、心と体を鍛え、新しいことに挑戦する「躍進」です。この三つを胸に、学校生活を送っていきましょう。

私たち大中学生は、「あいさつ日本一」を目指し全校であいさつの向上に取り組むことを通して、行動力を育てています。いつでもどこでもできるあいさつを生徒同士でも

積極的に交わり、さわやかに一日をスタートさせましょう。そして、あいさつをきっかけにして、多くの仲間や先生方と関わり、学校生活を充実させてほしいと思います。また、大内中では、運動会や大中祭などの学校行事は、生徒のアイデアを生かして、全校一丸となって創り上げていきます。様々な行事は、盛り上がるだけではなく、学年の壁を越えて交流し、絆を深める大切な場です。楽しみにしててください。

皆さんは、これから、新しい環境で、新しい仲間と共に、楽しい時間を過ごすことと思います。しかし、その時間はずっと続くわけではありません。だからこそ、「今」を大切にしてください。仲間とたくさんのかを学び多くのことに挑戦していきましょう。そして私たちと一緒によりよい大内中学校を築いていきましょう。

新入生のみなさんのこれからの学校生活が、輝かしく充実したものになるよう心から願い、歓迎の言葉といたします。

令和六年四月八日

生徒代表



入学式 校長式辞（抜粋）

本校の学校教育目標は、今年度より「人間性豊かに たくましく生き抜く生徒の育成」、副題を「『あいさつ日本一』への挑戦を通して行動力を育む」としました。そして、この目標は、三つの校訓「自立」「協調」「躍進」とつながっています。この校訓が意味する3つの力を、あいさつ日本一への挑戦、授業や係活動、生徒会活動、運動会や大中祭といった学校行事などを通して、生徒一人一人が身に付けることで、予測が難しいこれからの時代を生き抜く行動力になることを願っています。

ここで、新入生の皆さんにお願いがあります。生活や学習、部活動等も含めて「何事にも、失敗を恐れず、挑戦し続けてほしい」ということです。この大内中学校自身も、様々なことに挑戦しています。先ほど紹介した学校教育目標の変更や、日課表の変更。他にも、出欠連絡のデジタル化、ノーチャイムを試行しています。また、生徒からの発案で、運動会徒競走での選手紹介、手を振りながらのあいさつ運動などに取り組んでいます。

挑戦することの価値の1つは、「自分を磨き輝かせるもの」だからです。

挑戦しなければ失敗することはありませんが、自分自身の成長、自分磨きにはなりません。夢や志をもち、目標を掲げ、どうすれば達成できるかを考え行動することが大切です。

また、昔テレビなどで「本気の朝礼」で有名になった実業家の大嶋啓介さんは、挑戦することについて、次のように話しています。

「挑戦の先は、成功か学びしかない。」

挑戦したけど、うまくいかなかったり、躓（つまず）いたりするのは、困難なことに挑戦している証であり、当たり前のことなのです。そして、その躓きの中には、新たな気づきや学びがあるのです。一人一人の挑戦は、決して目立つことばかりではありません。日頃の生活での、好きなこと、得意なこと、嫌いなこと、苦手なこと等を振り返り、何かを伸ばしたい、変えたいという意味を大切に、自ら行動する力を身に付けてほしいと思います。